

# あなたも 資格にチャレンジ

公的な資格や民間の資格を取得し、「第二の人生」を豊かにしようというシニア世代が増えています。その資格の傾向や、取得のポイントなどについて、シニアライフアドバイザーの松本すみ子さんの話をまとめました【イラスト参照】。

## 取得の動機に社会貢献も

シニア世代の資格というところ、「再就職に有利だから」などの経済的な目的が思い浮かぶかもしれませんが。

しかし、近年は、それだけではなく、「自分のこれまでの経験や知識を生かして資格を取り、社会に役立てたい」との理由で、「資格に挑戦するシニアが珍しくありません。例えば、高齢者の身の回り世話などの体験をきっかけに、「介護職員初任者研修(旧・ホームヘルパー2級)」を取得する人もいます。シニアヘルパーは、利用者との年齢も近いことから、気持ちが理解しやすいのが強みです。

他にも、長い人生経験の豊富さを生かし、就労のアドバイスを行う「キャリアコンサルタント」や、家計の見直しをサポートする資格の勉強をすること、知的好奇心が大いに刺激されます。さらに資



## 豊かな経験生かし 楽しみながら学ぼう

格の取得に成功すれば自信となり、前向きな生き方に寄り添っていきます。

では、資格にチャレンジする際に、気を付けるべき点は何でしょうか。

勉強も、一人でしようと途中で諦めてしまうことがよくあります。仲間をつくり一緒に励まし合いながらすれば、挫折しにくいものです。民間はもちろん、自治体でも資格取得のための講座を開催している場合があります。積極的に利用してみましょう。

一方、非常に難易度の高い資格は、多くの時間と労力を費やす必要があります。その資格によって老後の人生で何をしたいのか、慎重に検討することが欠かせません。見栄やプライドから、難しい資格に挑戦するのは、もったいないことです。

仮に資格の取得に一度や二度、失敗しても落ち込み過ぎないことも大切です。既に新しいことにチャレンジし、勉強しただけでも、価値があるのですから。

何より自分が楽しみながら資格を取得することが肝心です。